

小型化と広色域を両立する新規表示装置

ライセンス契約を受けていただき 本発明の実用化を目指していただける企業様を求めます。

マルチバンドプロジェクターのように多くのフィルタを必要としない装置の発明です。

◆背景

プロジェクターから投影される画像をより鮮明に映し出すために、従来では分光特性を利用したマルチバンドプロジェクターが用いられていました。これは赤色、緑色、青色に対してフィルタを1つずつ組み合わせる必要がある為、システムが複雑化する上、機材が大型化するなどの課題があります。このため、機材を大型化することなく、簡便な方法でより鮮明な映像を投影可能なプロジェクターが求められています。

◆発明概要

発明者らは、プロジェクターにそれぞれ異なるスペクトルを遮断する2つのフィルタを取り付け、1つのスクリーンに投影することによって広色域化を達成しました。これによってマルチバンドプロジェクターに比べてフィルタの数を減らすことを可能としました。そのため、機材を大型化することなく従来方法よりも簡便な方法でより広い範囲の色を再現できるようになりました。

👍 従来よりも小型の機材で広色域を再現可能

**👍 フィルタを設置するのみで再現可能
→従来使用している装置がそのまま利用できる**

◆実験概要

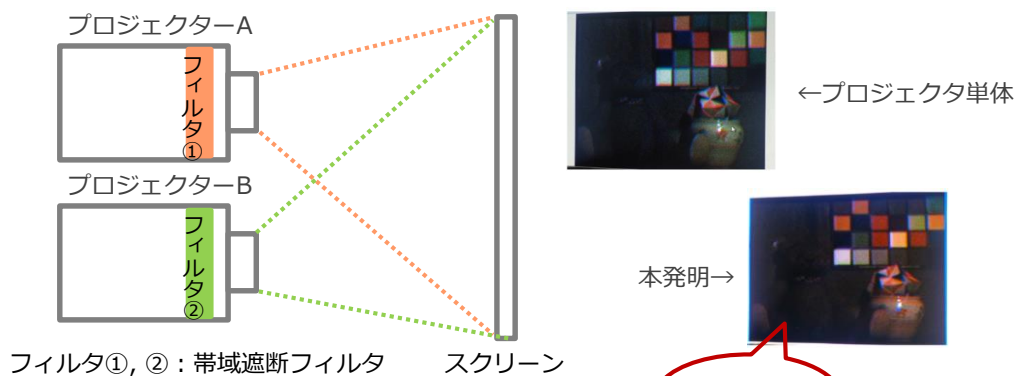


Fig.1 システム概略図

本発明は2台のプロジェクタ(もしくは、1台のプロジェクタ内に2つの光源がある場合はそれぞれの光源)にフィルタを設置し、スクリーン上で投影位置を合わせて表示する。各フィルタはプロジェクタのRGB波長の規格によって設計可能であるため、プロジェクタ本来の色域よりも広色域を鮮明に表示できる。

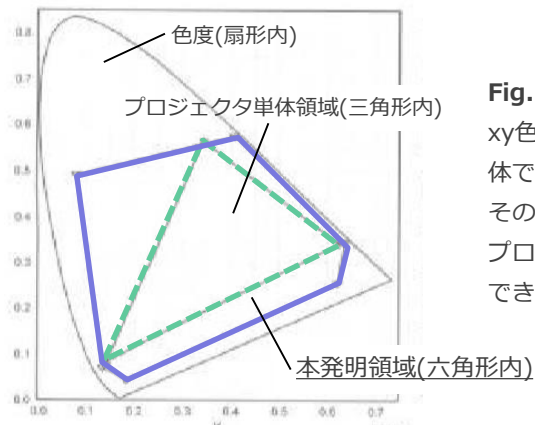


Fig.2 xy色度図における色域

xy色度図上で、本発明およびプロジェクタ単体で表現可能な色域をプロットした。その結果、本発明は特に赤色、青色においてプロジェクタ単体よりも広い範囲の色を表現できることが明らかとなった。

◆特許情報

【対象特許】

(1)特許第6452959号

プロジェクタ装置

【出願人】

国立大学法人千葉大学

【代表発明者】

眞鍋 佳嗣

◆研究状況

既存プロジェクターに合わせたフィルタを作成した試作機を保有。

◆応用が期待される分野

プロジェクターなどの表示装置関係

◆可能な連携形態

- ・ 実施許諾契約
- ・ オプション契約(技術検討のためのトライアル契約)

◆お問い合わせ先

学術研究・イノベーション
推進機構 (IMO)

知財・技術移転戦略部門

TEL: 043-290-3831

FAX: 043-290-3519

E-mail: beo3566@office.chiba-u.jp



CHIBA UNIVERSITY